

## 【基調講演】

油谷幸利（同志社大学）  
タイトル：朝鮮語研究と私



今春、同志社大学を定年退職される油谷幸利先生を中心として、1999年3月に朝鮮語教育研究会が設立されました。数名のメンバーで始まった小さな芽のような研究会は、その後、16年の歳月を経て大きく成長し、170名を擁する朝鮮語教育学会として、大樹へと成長しました。その感謝の想いを込めて、指宿の地で油谷先生の御退職記念の講演会を持たせて頂きました。1972年より研究活動を開始され、実に42年間の長きに亘って、朝鮮語研究の先頭に立ち、朝鮮語研究、なканずく朝鮮語教育の道を切り拓いてくださった足跡を聞くにつれ、感慨の念が止みませんでした。参加できなかった会員の皆を含めまして、大きな万雷の拍手で、先生のご功績に応えたいと思います。今後も研究活動を継続されるとのこと、益々のご発展を心より願っております。本当に長い間、ありがとうございました。



主な研究内容（研究の御足跡）

1. 文法研究（1972年～）
2. 辞書の改訂作業（1978年～）
3. 語彙研究（1978年～）
4. 情報処理（1981年～）
5. 教材開発（1988年～）
6. CALL教材の開発（1994年～）
7. 対照研究（1997年～）
8. WEB辞典（2006年～）



（指宿休暇村テラスにて撮影）

## 【統計ワークショップ】

統計分科会

斉藤信浩（九州大学）

タイトル： $t$ 検定を学ぶ -平均値の差の検定-

文化論分科会，第二言語習得論分科会，類似表現分科会，情報処理分科会に次いで，新規に「統計分科会」が立ち上げられました。第一回目は正規分布と $t$ 検定について，ワークショップ形式で，パソコンでSPSSを動かしながら学びました。

統計分科会の今後の活動としては，他の分科会が開催されない時，または例会以外の日程で年に2～3回程度の頻度で行う予定です。



## 【懇親会】

例会会場となった会議室で、懇親会が開かれました。薩摩焼酎、シャンパン、ワイン、ビール、指宿サイダーなどなど。歌あり、余興ありの、楽しい時間を過ごしました。



初代代表と二代目代表の独唱が！アカペラで堂々と한국노래を！  
さすが、両代表経験者、マイクを渡せば何でも解決してくれます！



楽しく語らい、指宿の夜は更けて行きましたー